

令和7年11月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 令和7年11月4日（火）午前11時00分～11時20分

場所 市役所2階 第1委員会室

出席 市政記者クラブ13社 20名

会見内容

1. 話題提供（1項目）

（はじめに）ホッキョクグマ「マルル」来園について

- 話題に入らせていただく前にご報告があります。釧路市動物園へのホッキョクグマ来園について、お話をさせていただきます。
- かねてより調整を進めておりました、ホッキョクグマの来園につきまして、このたび、熊本市動植物園で飼育されておりますメスのホッキョクグマ「マルル」1頭を、釧路市動物園で受け入れることが正式に決定いたしましたので、お知らせいたします。
- 「マルル」は、2012年（平成24年）12月8日に札幌市円山動物園で誕生した個体で、父はデナリ、母はララです。現在12歳になります。
- 今回の受け入れは、公益社団法人日本動物園水族館協会のもと、ホッキョクグマ種別管理者による国内飼育個体全体の調整結果を踏まえて決定されたものであり、国内での繁殖状況や年齢構成、性別のバランスなどを総合的に考慮したうえで、釧路市動物園が新たな飼育園として選定されました。
- 移送は12月8日（月）に熊本を出発し、専門の輸送業者による慎重な搬送を経て、数日後（12月11日（木）ごろ）には釧路へ到着する予定です。
- 到着後は、環境の変化に慣れてもらうための馴致期間を設け、体調や行動の様子を十分に確認したうえで、2026年（令和8年）1月3日（土）に一般公開を予定しております。
- 釧路市動物園では、2024年（令和6年）11月8日に15歳で亡くなったオスのホッキョクグマ「キロル」以来、およそ1年ぶりのホッキョクグマの導入となります。
- 「マルル」が新たな仲間として加わることは、私たちにとって大きな喜びであり、再びホッキョクグマの魅力を市民の皆さんにお届けできる貴重な機会になると考えております。

1 台湾訪問について

- つづきまして、今月予定しております台湾訪問の概要について、お話をさせていただきます。
- はじめに、北陽高等学校と台北市私立景文高級中学との姉妹校協定の締結についてです。
- 北陽高校では、これまで交流を重ねてきた台湾・台北市の私立景文高級中学と、このたび姉妹校の協定を締結する運びとなり、本年で3度目となる見学旅行に合わせて、11月11日に同校を訪問する際に、両校の校長による調印式を実施することといたしました。
- 調印式には、北陽高校の2年次生が見守る中、釧路市から私や畠中議長をはじめ、日台友好議員連盟の皆様などが同席する予定であり、また、景文高級中学からは、学校関係者の皆様に加え、台北市政府教育部の方の出席も予定されていると伺っております。
- 主な協定内容は、見学旅行などこれまでの活動に加え、ホームステイ体験等を促進し、さらには国際的視野を養う教育に関する情報交換や意見交換等を行う教職員間の交流も盛り込むこととしております。
- 市といたしましては、姉妹校締結を契機として両校の関係が一層深まり、さらに教育的・学術的な取組が進むことにより、国際的な視野をもった人材の育成につながるよう努めて

まいりたいと考えております。

- また、併せて台北市立動物園を訪問いたします。台北市立動物園では、2011年に釧路市から友好の証として贈った2羽のタンチョウ「ビッグ」と「キカ」、そしてその子どもである「リーホー」を飼育していることから、現在も学術交流に取り組んでおり、今回はこれまでの繋がりを踏まえての表敬訪問となります。
- 次に、航空会社などへの訪問についてです。市では、これまで「くしろ広域観光誘致推進協議会」の枠組みで、インバウンドによる観光需要の創出のため、台湾などの航空会社や旅行会社を訪問して、釧路空港への国際線就航を要請してまいりました。
- この度の訪台では、私の就任後初めての台湾へのトップセールスとして、釧路市も出展している台北国際観光旅行博へ参加するほか、直近では令和6年にチャーター便を就航いただいた実績のある、チャイナエアラインを訪問して、改めて釧路空港へチャーター便を就航いただけるよう要請してまいります。
- このほか航空局や外交部など、行政関係機関等を訪問し、台湾からのさらなる誘客を促進するため、情報交換もしてまいります。
- 最後に、花蓮市訪問についてです。令和4年8月に友好交流協定を締結した花蓮市へ、私が市長就任後初めての訪問となります。
- 現地では、花蓮市役所を訪問し、花蓮市長や花蓮市議会に相当する花蓮市民代表會の主席をはじめ、市職員の皆さんと交流するほか、花蓮市主催の歓迎夕食会に参加いたします。
- 花蓮市からも、12月15日から18日の日程で、花蓮市長をはじめとする訪問団8名が来釧し、議場での歓迎式や阿寒湖などの市内視察を行う予定です。
- これらの交流を通して、より一層、友好関係が深まるこことを期待しております。

2. 質疑要旨

(質問)

- ・ ホッキョクグマの「マルル」について、円山動物園からの貸借契約となるのかお聞かせください。
- ・ また、ホッキョクグマは絶滅危惧種であり、国内では繁殖目的で飼育されていますが、今後オスの個体を受け入れ、釧路市動物園内でペアリングを目指していくことになるのかお聞かせください。

(動物園長)

- ・ 契約に関しては、そのとおりでございます。
- ・ 繁殖については、釧路市動物園が決めることではなく、日本動物園水族館協会、それから所有する円山動物園と調整しながら進めていく話となります、今のところそういう話はございません。

(質問)

- ・ 緊急銃猟について、マニュアルをいつ頃までに作成するか、作成にあたって課題になっていることがあればお聞かせください。

(市長)

- ・ マニュアルの作成時期について、鳥獣保護管理法の改正により、本年9月1日から緊急銃猟制度が施行されております。緊急銃猟制度の運用にあたっては、各自治体におけるマニュアルの作成が推奨されており、現在、担当課において作成に向けた検討作業を行っております。
- ・ 市としては、このマニュアル作成のほか、緊急銃猟の実施にあたって必要となる資機材の調達などの作業を今年度内に行い、円滑な制度運用に向けた体制整備を進めていきたい

と考えております。

- ・ また、課題について、緊急銃猟制度の運用にあたっては、安全の確保と現場レベルでの適宜、的確な判断が何よりも重要と認識しております。
- ・ 他自治体における運用事例の検証、研究や、想定訓練の実施などにより、適正な運用が図られるよう取り組んでいきたいと考えております。

(質問)

- ・ ガバメントハンターについて、国からの支援もあると思いますが、検討されていくのかお聞かせください。

(環境保全課長)

- ・ 環境省や北海道から情報をいただいているが、研究段階ということで、現時点で具体なものはございません。

(質問)

- ・ 太陽光発電について、釧路湿原国立公園周辺でメガソーラーの建設が相次いでいることを受け、環境省が釧路湿原国立公園の拡張を検討しているという報道がありました。
- ・ 釧路市も含め周辺自治体と協議をされているとお聞きしていますが、釧路市では「生物多様性地域戦略」を踏まえ、守るべき環境を明確にしたうえで、公園の区域拡張を検討されているとお聞きしていますが、現時点で釧路市としてどういったエリアを国立公園として拡張してほしいか、具体案があればお聞かせください。

(市長)

- ・ 現在、環境省と国立公園の計画の見直しについて話をしているところであり、その話し合いの中には、国立公園の区域拡張も含んでおります。
- ・ 「生物多様性地域戦略」の策定にあたり、現在、公開されている植生図や野生動植物種の分布状況等をもとに、市の生物多様性の保全のために重要な場所を選定しているところでございます。
- ・ 国立公園の区域については、市が重要と考えている場所も含めて、環境省と検討していくたいと考えております。

(質問)

- ・ 具体的なスケジュールについて、市として主な場所を選定している段階だと思いますが、いつ頃くらいまでを想定しているかお聞かせください。

(自然環境計画主幹)

- ・ 現在、環境省と具体なこと、スケジュールについても調整しているところでございます。

(質問)

- ・ 国もメガソーラーの規制強化に向けて、法律の改正に着手したと思いますが、鶴間市長が9月に環境省と自民党の環境部会を訪れて、Non FITの規制強化や太陽光発電設備の廃棄費用の確保等を要請されたと思いますが、今回の国の動きに生かされているのか、反映されているのか、市長としてはどのように考えているかお聞かせください。

(市長)

- ・ 9月に環境大臣と面談させていただき、自民党環境部会へも参加させていただいて、発言もさせていただきました。多くの国会議員の皆さんにもご尽力をいただいております。
- ・ この度の国による対応は、当市をはじめとした多くの自治体が苦慮している状況を踏まえ、迅速な対応をしていただいているものと認識しており、大変感謝しております。
- ・ 法律改正等については、市町村の実情を考慮したうえで、より効果的なものとなるよう対応をしていただけるものと期待をしております。本当にありがとうございます。

(質問)

- ・ 国立公園の拡張について、規模感として熊本県の前例では3, 330ヘクタールでしたが、釧路市ではどのくらいの面積を想定しているか、今の段階でお話しできることがあればお聞かせください。

(自然環境計画主幹)

- ・ 現在、拡張する、しないも含め環境省と調整しているところであり、場所や面積についても、環境省と話し合いをしているところでございます。

(質問)

- ・ 先月、日本エコロジーが釧路市に来られ協議されましたが、その後の進捗はどのようになっているかお聞かせください。

(太陽光発電施設対策主幹)

- ・ 10月15日に日本エコロジーと協議等をさせていただき、その後、メール等のやり取りはありますが、特段進捗等はございません。

(質問)

- ・ その時に何らかの書類も提出されたと思いますが、その書類の精査等の状況も含めお聞かせください。

(太陽光発電施設対策主幹)

- ・ 現在、博物館において調査書類等の精査等を行っていると伺っております。

(質問)

- ・ 市長は11月2日に就任1年を終え、2年目に入ったと思いますが、1年目は太陽光の条例制定など、色々な取り組みをされたと思いますが、2年目で特に力を入れたい政策等があればお聞かせください。

(市長)

- ・ 公約に挙げたものについても、例えばALTを増員しましたが、この効果が少しずつ見えてくると思っており、それに合わせて今後どうしていくべきか、国際化にどのようにつなげていけるかも考えていきたいと思っております。
- ・ それから「スナダヤ」が進出することは決定しましたが、今後どのように地域経済と結び付けていくか、そういうことを会長ともお話していきたいと思っております。
- ・ また、カスタマーハラスマントの基本方針について、市役所職員が色々困っている現状を踏まえて作らせていただきましたが、この推移もしっかり見守りながら、対応も具体的にどのようにすべきかを考えていきたいと思っております。それと合わせて、より一層市役所職員の働き方改革を進めて、できるだけ笑顔で働く職場を作りたいと思っております。
- ・ 一年間務めさせていただいたて思ったのは、太陽光の条例もそうですが、市役所職員の皆さんに支えられ、そのおかげで頑張れた、何とか一年市政を運営できたという気持ちがあります。
- ・ 市民の皆さんにも感謝しておりますし、その気持ちを自分自身改めて胸に刻みながら、今後進めていきたいと考えております。